

こんにちは、虹色通信(なないろつうしん)です。

こんにちは、いつもお世話様です。虹色通信(なないろつうしん)です。今年は12月に寒くなって大雪が降ったり、今の2月は暖かかったりと変な天気ですよ？異常気象のせいだと思いますが、皆様方も体調を崩されないように充分にご注意下さい。

さて、21回目のお話を始めたいと思います。今回は「収納」についてお話したいと思います。

マイホームの計画をする際、当然、必要な居間や浴室とかは配置されると思いますが、収納スペースも軽視できません。クローゼットや押し入れは、お部屋と一体に計画する事が多い為、スペース確保ができますが、とかく納戸等のスペースは、居間とかの配置・広さの犠牲になりがちです。しかし、必要スペースとして考えられた方がよいと思います。何故なら、お子様の成長に伴い、増えていく物・また、雛人形や武者兜等の季節物は、年々増えていく事を考慮しなければならないからなのです。その失敗例として、我が家を挙げてご紹介します。

我が家は玄関脇に4畳程と、その奥に8畳程の納戸があります。階段下の納戸は食料品等、割とすぐ使う物を置き、奥の納戸はあまり使わない物・季節的な物を置いています。

我が家の一番の失敗は、この狭い4畳の納戸のレイアウトです。奥の納戸に行く為には、この4畳の納戸を通って行かなければ無理なのです。隣の車庫から、シャッターを開けて入る事も可能なのですが、やはり家の中から行ける方が便利ですよ？その為、この納戸が通路的な利用になってしまい、思った程物が置けないのです。奥の納戸に行く為の入口を、作っておけばよかったのです。まあ、今からでも作る事は可能ですが。住んでみてわかる欠点は多々ありますが、それはある程度、仕方ないと思います。生活環境が変わったりすると、それが合わなくなる事もあります。ですが私のようなミスは、配置上のミスですので、設計の段階でクリアできると思います。いざ、実設計に入った時は、私達プロの設計士にお任せ頂ければと思います。

収納のスペースを、納戸やクローゼット等として確保するのが一番ですが、他にどうしても収納スペースが欲しい場合の、収納の取り方をお教えます。それは、**階段下を物入にする方法**です。普通の大きさの物入にはならないにしても、階段の段の裏側までいっぱい仕上げれば、かなりのスペースが確保できます。掃除機が入る位の高さは確保できるはずですよ。

また、下の写真のように、**壁に埋込みの収納を設けるのも一つ**です。どれもお客様宅の実例です。**写真1・2**は玄関の脇に取付け、奥様の趣味のクマのぬいぐるみを飾られていました。

写真3は小さくてわかりづらいと思いますが、階段の脇に収納を3箇所設けました。ここに置物や本を飾られていました。**写真4**はLDKの入口脇に収納を設け、お子様の好きなフィギア等を飾られていました。

このように収納というよりは、小物入れ的な利用方法はお部屋のアクセントになり、新築・増改築のインテリアとしても組み込めるアイデアだと思います。是非、プランの中にご活用されてみてはいかがでしょうか？



写真1

写真2

写真3

写真4

M-ONE HOME

集い(つどい)

(株)モリケン

TEL:(0268)68-2225 FAX:(0268)68-2196 森田携帯(090)2215-8356

URL:<http://www.moriken-motto.com>

E-mail:mail-info@moriken-motto.com